

平成 31 年 4 月 23 日

平成 30 年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 地域人材教育開発機構
氏 名 松岡 知津子

活動テーマ	地域日本語ボランティア教師用教材「日本語ボランティアこれだけは！(仮)」の開発
実施期間	平成 30 年 5 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
活動内容	(1) 具体的な活動実施内容 津市教育委員会主催の地域日本語ボランティア養成講座(年 24 回)および伊勢市のいせ日本語教室におけるボランティア養成講座(年 1 回、3 月 24 日開催)を実施しながら、アンケート及びインタビュー調査によって地域日本語ボランティア講師が直面する具体的な課題について明らかにした。その結果をもとに、ボランティア教師初心者のための教材の開発に着手した。 (2) 地域への貢献(地域の発展・活性化への寄与、広がり) 上述の講座の受講生は津市や伊勢市のみならず、伊賀や鳥羽といった他地域でも日本語ボランティアとして活躍している(今後始める者も含まれる)ため、受講したボランティア講師が各地域における外国人への日本語教育に寄与している。受講生からは、「受講前と明らかに教え方が変わった」などの声が聞かれた。 (3) 共同実施者との連携状況 津市教育委員会とは、津市で開かれる講座で常に連携を取り、講座の内容や方向性について検討を行った。MIEF 猪狩専門員とは、教材開発とその講座についての具体的な内容についての助言をいただいた。 (4) 大学の教育・研究成果のかかわり 本活動は、本学で行われる教育活動とは直接的には関係していないが、本学の留学生に学外での日本語学習の場として、地域ボランティア教室を紹介してきた。 また、教材完成後は、その成果をまとめて日本語教育学会等で研究成果の発表を行っていきたいと考えている。 (5) イベント等開催実績(名称、実施場所、参加人数等) 津市における日本語ボランティア養成講座(年 24 回、13 時半～15 時半於津センターパレス)では、毎回最少で 25 人、最多で 40 人程度の参加者があった。伊勢市(3 月 24 日実施、於伊勢市ハートプラザみその保険会議室)ではボランティア経験者及びボランティアに関心のある 30 名を対象に「日本語ボランティア基礎の基礎」と題して 10 時～15 時半までの講座を開催した。 (6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について ※継続 4 年目以降(認定)の活動については、これまでの継続した取組みによって得られた具体的な成果について記述願います。 ボランティア養成講座で基礎を学んだ受講生は、随時地域日本語ボランティアとして地域に暮らす外国人の日本語学習の補助を行うなど、地域に寄与している。また、アンケートおよびインタビュー調査で得られた結果は、現在開発中のボランテ

	ィア用教材の難易度及び要領を考えるうえで役立っている。
--	-----------------------------